

2018年10月7日

第1170号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉦一（宝徳）
Tel.0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい
(月177円程度)
10月 22人 7,086円
9月 39人 25,313円

バスツアーのご案内

参加費2000円



第3回山形県赤旗まつり

10月28日(日)

午前10時30分開会/午後3時30分閉会

チェリーランドさがえ・イベント広場(寒河江市)

【雨天決行】

(参加協力券500円)

記念講演 田村智子

(参院議員・党副委員長)

あいさつ 紙智子(参院議員)

(日本共産党後援会加藤鉦一ブロック連絡会)



バスの経由地	
8時10分	余目(町湯附近)
8時30分	三川町公民館
8時40分	藤島駅前
8時50分	羽黒庁舎
9時00分	櫛引ヤマザワ
9時10分	朝日JAスーパー

参加の申し込み	
10月23日(火)まで	
藤島	石川 64-2258
	成田 090-7323-5144
	加藤 090-8929-4221
櫛引	伊藤 080-6006-0804
朝日	渡部 090-6450-2874
余目	工藤 090-4639-7461
三川	成田 090-2601-0579

義民顕彰碑

明治黎明租税欺
村氓一慍官咨
義民訴訟田家礎
幾満英霊無絶期

義民 顕彰碑

明治 黎明
村氓 一慍
義民 訴訟
幾満 英霊
田家 礎なり
官を 愠りて咨く
租税 欺く
絶ゆるの期無からん

城貞(藤の花)

明治の夜明け(明治7年)、税制がみだれ、

農民一人一人が役人に賦課について、いきどおりを感じて嘆く。

農民が訴訟したことが、今農家そのものの礎になっている。

決起した多くの農民の魂は、いつまでも忘れられずに語り継がれることであろう。

ワッパ騒動に立ち上がった人々を義民と称えて藤島八幡神社に顕彰碑が建立。

「絵を描く」 稲上げ

加藤貞雄(山王町/上平形出身)

近年「稲の杭かけ」の姿を見る機会は非常に珍しくなった。稲刈りと脱穀を同時にこなすコンバインが走って、稲穂一面の田んぼがいつも間にか稲株に変わっていく。稲刈とか稲上げという言葉が宙に浮いてしまったようだ。

それで思い出すが子どもの頃の稲刈りや稲上げに携わったときの様子だ。垂れ下がる稲穂の間に頭を突っ込んで、右から左に5株の稲を刈る。まとめて空中で1回転させて数本の稲で縛る。それには、かなりの慣れを要した。そんな姿が臉に浮かぶ。

そして稲上げだ。やせ馬(背負い梯子)に稲丸を2つ、3つと乗せて、ぬかる土に足をとられ、株間を一步一步よるめきながら道端まで背負っていく。指の間に食い入る心地よい土の感触を覚えながら。

「タバコ休み(ひと休み)だぞ!」の声にほっとして、みんなで

道端に腰を下ろして「アラレ」をつまみながらしゃべり合う。「野球のグローブを買ってやるからな」と言った父の言葉を思い出す。一丁前とはいかないまでも、その頃は子どものも手も農作業の大事な役割を担っていたのだ。仕事の間に眺めた風景一広がる稲穂の向こうの藤島の停車場の階段、その遙か彼方の月山の姿を幻のように思い出す。冬になると、隣近所から脱穀の音が聞こえてきた。こんな少年の頃の体験からだろうか。私の絵にはいつとはなしに田んぼや稲や働く人の姿などが出てきている。懐かしいという情感からだけではない。自然を見る目、そこから学ぶ力、そして、力を出してみんなと一緒に働く労働の貴重な体験。そんなことを訴えたい、という気持ちが底に流れているからに違いない。



新政クラブが市長に質問状？ 議会で質するのが議員の務め

鶴岡市議会の自民系の新政クラブ（小野寺佳克団長）が議会閉会日の28日、ごみ最終処分場の整備遅れの責任などに関する質問状を皆川市長に提出したと報道されています。

小野寺団長は「議会では納得できる答弁がなく、議論の時間もあまりなかった」と提出理由を語ったとのこと。市民が質問状を出すならまだしも、発言権を持つ議員がおこなうことでしょうか？

予算に賛成していた

心配される浸出水について、河川に流さず下水道に接続することに対し、質問状で「河川放流とのコスト比較」を上げています。

3月議会では、下水道に接続する設計業務の予算に新政クラブも賛成していましたが…。

受委託を持ち出し

事の経過は、新政クラブの議員が3年前の平成27年6月議会一般質問で、新たなゴミ処理施設建設に際し、三川町とのゴミ処理受委託の見直しを迫ったことが発端です。

榎本前市長が「三川町からの委託を見直す」、「三川町の合併を申し入れる」「それがなければごみ問題にゴースインを出すことが出来ない」と発言したことから業務が中断され

ました。

その後三川町に無断で地域計画の変更を国に提出し、環境省から不受理とされ、結局28年3月に三川町との事務レベル協議が再開され、この間9ヶ月の作業が失われました。

話し合いに尽せず

最終処分場について、地元住民らが28年5月に候補地取り下げを申し入れたのに、市は現地調査を実施しました。

これに対し、住民らは29年8月に建設反対の署名2043筆を提出しました。

市は「地権者からは反対の声が上がらな

った」と答え、合意形成が進みませんでした。榎本前市長が、市民との話し合いに一度も応じなかったための遅れが最大の問題です。

対話の力こそ

新しい皆川市長によって、「市民の会」と4回の対話が重ねられ、ようやく今年7月25日に合意が実現しました。

結局、岡山の埋立満了の平成32年9月には間に合わず、整備遅れの見直しは12・5ヶ月で、その間、処分の民間委託が必要になり、その費用約2億1千万円が新たにがかかります。前市政と自らの責任を不問にして、皆川市長に責任を求める質問状の意図が見えませんが…。

だまされては遺憾！
すべてを戦争ため！
国家総動員法

青山 崇

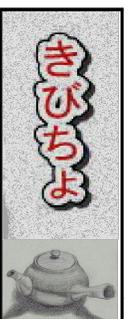


1938(昭和13)年

制定された国家総動員法は、国民生活と経済活動をすべて国家が統制・動員するもので、生活品は配給制になり、窮乏生活が強制され、「セイタクは敵だ！」「ほしがりません、勝つまでは！」などの標語が

良し組織のように歌わせたが…狙いは前記のようだったのである。

生徒・学生は勤労働員といつて農村や軍需工場で働かされ授業はなくなり、式では、天皇・皇后の「御真影」写真に再敬礼させ、「いざという時は身を投げ打って天皇に尽くせ」という教育勅語を暗唱させ、「世界に一つの神(天皇の国)」「鬼畜米英」を教え込み、米英兵の糞人形を竹槍で突くことをやらされた。私たちの頃は、もう



基地阻止が勝つ

沖縄にとつては天下分け目の知事選挙が終わった。しかも、自分としては嬉しい。新基地建設阻止のデニーさんが勝つたのだ。

▲もともと新基地推進側で自民党の要職にあった翁長さんが、沖縄がこんなザマで良い訳はないと、自民党を離れて出たのが前の知事選挙だったのです。

▲新基地に慎重なフリをして知事になっていた仲井前知事が、任期切れの時に出した工事容認の手続きがあつて、4年間苦勞の末に癌でなくなり、彼の思いが県民の半数以上の支持を頂いてデニーさんが当選したのです。

▲戦後70数年でも犯罪の元凶となつている基地。住民を追い出し、銃剣とブルドーザーで作った基地を返すから新しい物を作れ・では、

このような体制が出来上がつていて疑問も持たなかった。

それでも子ども心に、先生が「〇〇からやむなく転進」と言つたとき「それは退却では」と言つたら、有無を言わせず、無礼者とぶんどられた。女性には、「産めよ、増やせよ、国のため」と平均5児を産むことが強制された。兵士を増やすためである。なおも不足したので中国・朝鮮の人々をも徴兵した。

話にならないでしょう。しかも、新しい物は耐用年数が200年というから永久に基地が存在することになる。▲これには誰だつて反対するから、こうすれば暮らしが良くなるよと「なだめ」の手を使ったのが相手陣営。だから基地の話は、隠しつばなし。変にも沖縄の選挙に、携帯電話の利用料の引き下げまであつたとの報道だ。

▲なんでもアリで県民を愚ろうしていたんだが、菅官房長官や人寄せのため、人気の小泉議員が3回も演説したんだとか。ここで並べた沖縄の振興策は、国が出来る事なんだから、県知事が誰であろうとやれば出来るんだぜ。早速やつてもらおうじやないの。なーそうだろ・みんな！

▲県民の意思を安倍政権は無視して県民に襲いかかるのか。民主主義が確認できるぜ。

(石川)